



町田市立町田第三中学校
三中 News
第7号

令和6年 7月19日 発行

町田市本町田1853番地
電話 042(722)6095
FAX 042(721)4386
ホームページもご覧ください。
<http://www.machida-ky.ed.jp/j-machida3/>
「町田第三中学校」で検索

1学期終業式校長講話

校長 大石 眞二

【「100日も」なのか「100日しか」なのか】

おはようございます。今日で一学期が終わります。一学期は2・3年生が105日、1年生は104日ありました。100日もあったのかと考える人と、100日しかなかったのかと考える人がいます。「100日も」なのか「100日しか」なのか。皆さんはどちらですか。

何かお手伝いをしてお小遣いをもらうときであれば、「100円ももらえた」と言えば、予想よりたくさんもらえたという満足感を表す表現になります。しかし、目的地への道のりを調べたときであれば、「あと100キロもある」と言えば、まだそんなに移動しなければならないのかというげんなりした気持ちを表す表現になります。同じ「も」という助詞を使った表現なのに正反対の文脈になってしまいますね。皆さんの中で「100日もあったのか」と「も」で考えた人には、ぜひマイナスの意味ではなく、プラスの意味で考えてほしい。「へー、自分は100日も頑張ったんだ」と言うように。「100日しか」という場合は、充実していたから時間が短く感じられるというような肯定的な感想の人が多いかと思います。肯定的な考えの人は、ものごとがうまくいきやすい。失敗してもすぐに気持ちを切り替えられるからです。明日からの夏休みは44日間ありますが、44日間「も」でも、44日間「しか」でも構わないので、ぜひポジティブにとらえて過ごしてほしいと思います。

今日は言葉についてお話をします。今同じ「も」という助詞を使った表現でもいろいろな意味に取ることができるといってお話をしました。このように言葉というものは、使う側の意図とは異なる意味で伝わってしまうことがあるのです。我々は対面してコミュニケーションを図る場合には、身振り手振り、声のトーンや速度、表情など、実に様々な情報とともに相手に自分が伝えたいことを伝えることができます。このように言語に頼らないコミュニケーションを、ノンバーバルコミュニケーションと呼びます。アメリカのある心理学者の研究によると、言葉によるメッセージからの情報はわずか7パーセント。残りの93パーセントが聴覚や視覚情報から情報を獲得しているのだそうです。一方、大昔のSNSとも言える和歌のやり取りは、言葉ではわずかなことしか伝わらないことを承知の上でメッセージを伝えていたようです。和歌は57577の31文字と字数が限られています。もちろん、何首も並べれば言える内容は増えるわけですが、それではかっこよくないというわけで、言いたいことを小出しにして何度も和歌の贈答を繰り返すわけです。このように和歌は、伝える情報量に限界があるということを前提にやり取りが行われていました。しかし、現在のSNSは、情報量の限界という認識があってやり取りが行われているのでしょうか。言葉だけでは相手の真のメッセージを正確に読み取ることが難しい、こういう認識がない人が多いから、SNSのトラブルが起りやすいように思います。皆さんも自分はこのようにつもりでこの言葉を発したのに、誤解を受けてしまった、こういう経験があるのではないのでしょうか。

「も」という助詞のように、言葉は一種類の意味だけをもつわけではないこと。また私たちはコミュニケーションにおいては93パーセントのノンバーバル言語、即ち言葉以外の情報によって相手の意図を把握しているのであって、態度や音声といった非言語情報のない言葉だけの情報ではメッセージを誤りやすいこと、この2点をよく覚えておく必要があると思います。何か気に障る言葉を見聞きしたときも、「ちょっと待てよ」と立ち止まることが必要です。もちろん、言語感覚を磨いて、ノンバーバル言語に頼らなくても相手に真意が伝わる言葉を発することができるように、紛れのない言葉遣いができるようにしていくことも必要です。夏休み中はSNSのやり取りが多くなる人もいることでしょう。SNSをやるなどは言いません。その特性を理解したうえで使っていくべきだということです。また、言語感覚を磨くには、語彙(い)を豊かにしていくことが重要です。語彙とは言葉の意味だけを指すのではなく、文脈の中での言葉の意味を知っているということです。語彙力を身に付けるには、読書が役に立ちます。好きな作家やジャンルだけでなく、ぜひいろいろな作家やジャンルの読書に挑戦してみてください。読書などによって語彙を増やし言語感覚を磨く。これを夏休み中の目標の一つにしてみましよう。

【悩んだときは大人に相談を】

もう一つ、お話をします。一学期に相談先のアドレスや電話番号が書かれたカードが配られています。また、皆さんのクロムブックのブックマークにも、24時間相談できる相談先が登録されています。どうか、自分では解決できないと悩むようなことがあったら、昼間であれば周りの信頼できる大人に、夜間であれば、カードやクロムブックに書かれた相談先に相談して、一人で悩まないようにしてください。12歳から15歳という中学生のころは、思春期といって、より悩み傷つきやすいときです。そして、そんな感受性が豊かなときだからこそ、大きく成長しやすいときでもあります。皆さん一人一人は、誰にも代わりのできない、唯一無二の存在です。悩んだときには、一人で悩まず必ず誰かに相談してください。

それでは明日からの44日間を、それぞれ有意義に過ごしましょう。部活動や夏休み中の宿題に取り組むことはもちろん、お家でのお手伝いなどもしっかりしてください。また、海や川に遊びに行く人は、周りをよく確認し危険な行為をしないようにしてください。どうか熱中症や事故に気を付けて過ごし、二期の始業式には元気に登校してください。9月2日に皆さんの笑顔を見られることを期待しています。

○表彰されました

7月8日（月）生徒会朝礼の後で、表彰が行われました。

卓球部：2024年度 第7ブロック町田地区中学校卓球選手権大会

男子個人3位…3年M.Sさん

第36回町田市ジュニア・カデット卓球個人選手権大会

男子個人3位…2年I.Kさん、K.Kさん 男子個人5位…2年S.Nさん、N.Rさん

バドミントン部：第7・9ブロックバドミントン選手権大会 女子団体 第3位

*卓球部（M.Sさん）及びバドミントン部（女子団体）は、都大会の出場が決まりました。

生徒会レク優勝クラス：1A（1年生の部）・2D（2年生の部）・3A（3年生の部）

○7月2日（火）花壇の苗植え

6月28日（金）定期考査最終日に実施されるはずだった花壇への苗植えが、雨天のため7月2日（火）放課後に延期され行われました。6月28日と7月2日両方のスケジュールを空けて苗植えをお手伝いいただいたPTA花壇委員会の皆様、暑い中本当にありがとうございました。今年度からはこの花壇委員会に地域・保護者花壇と生徒花壇の設計及び準備そして生徒指導を行っていただいています。

美化委員と体験活動部の皆さんが手を真っ黒にしなが、頑張って苗植えをしてくれました。夏休み中には花が咲き始めるかと思えます。二期始業式には満開の花々が皆さんを迎えてくれることを期待したいですね。夏休み中もお花への水やり、是非よろしくお願ひします。

○熱中症警戒アラート発令時の対応等について

6月29日（土）に今年度初の熱中症警戒アラートが発令されて以降、7月上旬には連日アラート発令が続きました。本校では熱中症警戒アラート発令時に、下記のように対応しますので、ご承知おきください。特に早退時には原則としてお迎えをお願いすることになりますのでよろしくお願ひします。

- ・アラート発令時で、WBGT（熱中症指数）値が31以上又は気温35度以上の場合

昼休みの校庭開放、外で活動を行う部活動、全て中止

早退する生徒…原則として、保護者にお迎えを依頼するなど一人で帰らせないようにする。

- ・アラート発令時で、WBGT（熱中症指数）値が31未満かつ気温35度未満の場合

昼休みの校庭開放は13時15分までとする。外で活動を行う部活動は1時間程度の軽い調整とする。

また、アラート発令の有無に関わらず、水分を多くもたせるようお願ひします。また、夏季休業期間中の部活動では健康観察カードの提出が必要となりますので、ご協力をよろしくお願ひします。

○夏季休業期間を安全に過ごすために

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。1学期も大変お世話になりました。改めまして御礼申し上げます。明日からの44日間は、三者面談や部活動、補習などで登校することもあるかもしれませんが、大半をご家庭で過ごすこととなります。

ご家庭におかれましては、夏休み中の生活が二期により影響を与えられるよう、規則正しい生活を送らせ、事故のないようご指導いただきますようお願い申し上げます。

8月10日（土）から15日（木）は学校閉庁期間となります。この期間は日直等も割り振られておらず、学校の電話もつながりません。また、Tetoruやファクシミリでご連絡いただいても対応できません。万一、学校閉庁期間中に何らかの事件に巻き込まれたり事故に遭われたりした場合には、恐れ入りますが、警察等の関係機関にご連絡いただき、閉庁期間後に学校にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

閉庁期間以外の平日に関しましては、8時15分から16時45分までの間にご連絡をお願いします。それではよい夏休みをお迎えください。

安心・安全な学校生活を送るために

～生徒のみなさんが先生から、「おかしいな」「モヤモヤするな」
「イヤだな」と感じることをされたとき～



「性暴力」※は人間の尊厳を著しく損なう行為です。
教職員から「性暴力」が生徒のみなさんに及ぶことのないよう
に、ルールを決める法律があります。

例えば、

- 先生は、**生徒の体に、必要もないのに触りません。**
- 先生は、**学校の中や学校の外で生徒と、
校長先生の許可なく二人きりになりません。**
- 先生は、**生徒と個人的な連絡を行いません。**
- 先生たちと生徒の皆さんとの間に**交際関係は成立しませ**

先生たちは、学校の中でも、学校の外でも、ルールを守ります。もしも、ルールを守らない先生がいたら、みなさんは「イヤです」と言ってよいのです。我慢せず、ほかの先生や保護者など、信頼できる大人に相談しましょう。

まわりの大人に話したくないときには、相談シートに書いて送ったり、相談窓口と話したりすることができます。

※ 性暴力とは、性的な言葉や行動で人を傷つけること。直接体に触る行為だけでなく、覗いたり見せつけたり、相手が嫌がっているのに性的な言葉を言ったり、SNSメールで性的な言葉を送る行為も性暴力です。

児童・生徒を教職員等による性暴力から守るための第三者相談窓口



保護者の皆様へ

日頃より、本校の教育活動に御理解、御協力いただき、ありがとうございます。
本校では、お子様が心と体を大切に守り、充実した学校生活を送ることができるように、努めております。

お子様が、悩みや不安がある際は、いつでも学校に相談することができます。

しかし、周囲の大人に相談しにくい、直接話すことができないなどあった場合は、一人で抱え込まずに、配布した相談シートを活用し、相談することができます。

御家庭におかれましては、学校生活における出来事について話し合う機会をもってください。お子様が「痛いな」「怖いな」「おかしいな」「モヤモヤするな」「イヤだな」と感じる事があれば、学校に御相談いただくか、相談シートや各種相談窓口を御利用ください。相談シートは、性暴力等だけでなく、体罰等に関する相談も記載することができるようになっております。

私たち教職員は、今後も児童・生徒の心と体を大切に守り、充実した学校生活を送れるようにしてまいります。保護者の皆さまにおかれましては、本校の教育活動に御理解、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



児童・生徒を教職員等による性暴力
から守るための第三者相談窓口
(保護者の方も相談できます。)

令和6年7月19日

町田市立町田第三中学校

校長 大石 眞二